

## 「特別支援学級運営充実検討委員会報告書」の概要について

### I 特別支援学級運営充実検討委員会

- 1 検討委員 学識経験者、学校・教育関係者、障がい福祉関係者、保護者 10名
- 2 開催日 第1回：令和4年2月1日、第2回：2月18日、第3回：3月22日

### II 報告書の概要

#### 1 基本的な考え方

特別支援学級で学ぶ児童生徒の増加に伴い、特別支援学級を担当する教員の「専門性の向上」や「校内支援体制の強化」が課題となっており、本県における特別支援学級の現状と課題を整理した上で、児童生徒一人ひとりの実態や障がい特性に応じた支援の在り方、サポート体制充実のための方向性を報告書として取りまとめた。

#### 2 委員提言による今後の方向性

##### (1) 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

###### ①特別支援学級に関わる全ての教員に求められる専門性について

専門的な知識や指導経験を有する特別支援学校との一層の連携を図るとともに、「当事者」や「保護者」の思いを聞く機会を設け、研修内容を充実する。

###### ②学校コンサルテーションの一層の充実について

「学校コンサルテーション」導入モデル校を設定し、大学等の教育機関との連携のもと特別支援学級教員の指導力向上を図り、成果を各学校へ横展開する。

###### ③社会参加と自立に向けた支援について

特別支援学校での「社会参画に向けた教育活動」やコミュニケーションの育成などの「自立活動」の取組を積極的に活用する。

##### (2) 校内支援体制の充実・連携強化

###### ①校内支援体制について

特別支援教育の経験年数が異なる教員が校内でチームを組み、徳島型メンター制度を活用した支援体制を整備する。

###### ②特別支援学級を含む効果的な学校運営について

子どもたちが「ポジティブな目標」について主体的に話し合い、学校全体で取り組むことにより、誰かの役に立つ経験や喜びを知る教育を推進する。

##### (3) 関係機関（大学、障がい福祉団体等）との連携の充実

###### ①関係機関とのネットワークについて

大学等との連携のもと、例えば特別支援学級を担当する教員が抱える疑問や悩みを解決できる「FAQ」や「相談リーフレット」の作成など、誰もが活用できる支援ツールをホームページに公開する。

###### ②特別支援学校のセンター的機能の活用について

オンラインを活用し、特別支援教育に携わる教員が効果的な指導方法等の情報共有を行ったり、悩みや課題について相談したりできる「地域別事例検討会」を設け、学校間連携の一層の強化を図る。